



組織基盤の強化や会員満足度の向上を目指す 新年度事業計画・予算などを承認

館林商工会議所では3月30日（木）、館林市文化会館「アザレア」において通常議員総会を開催し、令和4年度補正予算、令和5年度事業計画並びに収支予算等について審議がなされ、原案通り承認された。



（通常議員総会の様子）



事業計画

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の長期化に加え、国際情勢の緊迫化や円安による原材料価格等が高騰する中、中小企業は価格転嫁が思うように進まず、加えて人手不足も深刻化しております。

本市につきましては、「麺-1 グランプリ」や「館林まつり」が中止となりましたが、「七夕まつり」「産業祭」などのイベント等が3年ぶりに実施することができました。

また、昨年10月には創立75周年記念事業として、館林で初めて「つなぐ未来と平和への願い」をテーマに、群馬県立館林美術館で、プロジェクションマッピングアートを実施し、幻想的な映像と音楽を多くの市民に体感していただきました。またキッチンカーも出店し、「光」と「音」と「食」の芸術祭となりました。12月には三の丸芸術ホールにおいて会員ほか関係者約200名が出席して記念式典・記念講演会を開催しました。

本年度も引続き、組織基盤の一層の強化に努め、社会経済変化に対応するための支援や、管内中小・小規模事業者の課題解決に向けたより丁寧な「伴走型支援」を実施するとともに、地域の企業ニーズに即した会員サービスを積極的に展開します。

具体的には、広報活動の多様化として、「SNSの利用」を推進し、「商工たてばやし」や「ホームページ」の内容をより充実し、会員の皆様からの声を反映させ、会員満足度の向上を目指します。また、事業承継支援や次世代育成として、「セミナー開催」や高校や大学等とコラボし会員事業所の保有する技術や製品を使った、「新製品開発」などの支援にも取り組みます。

そのためにも、部会・委員会活動の活性化を図るとともに、商工会議所職員個々のスキルアップに努めます。また、行政をはじめとする関係機関との連携を強化し、人口増加施策や中心市街地の賑わい創出など、地域経済の活性化に取り組みます。